

KEY WORD: 東南アジア地域研究、文化人類学

◆ 研究概要等

これまで、東南アジアとりわけベトナムについての研究をしてきました。特に、ベトナムのマングローブ地帯の環境に人間がどのような影響を与えてきたのかを研究しています。その際、「鳥の目、虫の目」をもって研究するように心がけています。鳥の目とは、広い視野をもって大局を把握することです。私の場合、国際援助機関や政府の政策などの分析がこれに当たりますが、こうした学問的手法としては政治生態学というジャンルがあります。虫の目とは現場で具体的に何が生じているのかを把握することです。文化人類学では、長期にわたるフィールドワークを行います。私の場合も延べ5年に渡ってベトナムの農村でフィールドワークを行いました。鳥の目を使った分析と虫の目を使った分析を統合することで、グローバルな世界の中で生じている人間と環境の相互作用を明らかにしたいと考えています。

社会マスメディア系専攻
文化人類学研究室
准教授

すずきこうすけ
鈴木光祐

chaoss68@socio.kindai.ac.jp



■ 研究テーマ等

1. 東南アジア研究

東南アジアのフロンティアの過去、現在、未来、特にベトナムのマングローブ湿地帯の開発に関して調べています。

歴史研究では、ベトナムが植民地であった頃の資料をフランスの公文書館や国立図書館で収集しています。また、森林分野における植民地行政の比較を行うため、ロンドンでも資料を集めています。

現状に関する研究では、国際援助機関（例えば、国連開発計画、国連環境計画、世界銀行など）の援助方針や政府の開発政策、環境保護政策などに関する公文書や法令などを集め、同時にフィールドワークを行って現地での資料収集をしています。

こうした過去と現在の研究から、環境と人間の相互作用がどのように変化していくのか考えています。

2. グローバル・ヒストリー

1の研究を進める中で、世界規模の「つながり」について興味を持つようになりました。いわゆるグローバル化について興味をもったわけです。そこで、現在の世界のあり方を理解するために、歴史の研究を行うようになりました。この研究成果は授業の「グローバル・ヒストリー」で学生さんにも還元するようにしています。毎回の授業で配布する資料は、こうした研究結果をふまえて執筆しています。

3. 写真の文化人類学的研究

現代の写真シーンに関して、社会的な側面から分析を行っています。とりわけ、最近の写真家が出版している写真集などを対象として、写真に表れる社会の価値観や、ものの見方、また、そうしたものの表現形態などを分析しています。この研究成果は、「基礎購読（鑑賞）A」で学生に還元しています。

4. Anthropological Art Project

文化人類学では芸術も分析の対象となってきましたが、このプロジェクトでは芸術作品を分析するのではなく、文化人類学的な視点でアート作品を制作するという実験的な試みを行っています。

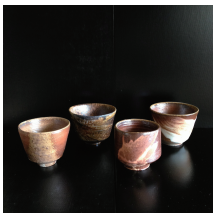


2015年には、「からゆきさん」を主題としたアート作品を制作し、神戸のギャラリーで展示しました。

●論文・作品・表彰・特許等

1. 2015年「マングローブ湿地のシンプリフィケーション」『総社る』4(1) 27-46.
2. 2015年「土地利用とガバナンス：ベトナム・カムウ省のマングローブ湿地の事例から」『渾沌』(12) 112-133
3. 2015年「ANOM/R.S.Tonkin/NF02117」 Anthropological Art Project, in Gallery 北野坂
4. 2009年'Dilemma of Local Commons Considered from the Viewpoint of Asymmetric Information: A Case Study in Vietnam'. Proceedings of the Fourth Afrasian International Symposium .
5. 2005年9月30日：地域研究博士（京都大学）

▲趣味等



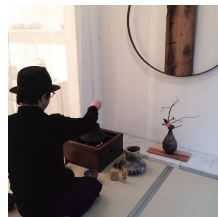
陶芸

2016年2月に
作った作品



金継

割れた器を漆と
金で修理します



茶の湯

抹茶を点てて
います



器収集

これでも半分
ほどです

◆ゼミの宣伝等

かなり課題の多いゼミです。文化人類学のテキストや論文の発表、夏休みのフィールドワーク、京都大学の大学院入試問題を解答して発表する、などなどです。ほぼ隔週で発表することになります。とはいえ、不思議とゼミを欠席する学生や課題・発表をすっばかす学生はいません。息抜きに前期と後期で1度、ゼミでフリー・デ이를設けています。2016年春のフリー・デいはたこ焼きパーティーでした。

